

岐阜県シニアソフトボール連盟の歩み

H14

①	2月11日	県シニア代表者会議～各務原文化センター。 岐阜県シニアソフトボール連盟が結成される。参加は14チーム。会費は¥5,000/年。
	3月24日	リーグ戦の開幕～
	8月4日	県役員と白鳥チームで親善試合～白鳥にて。

H15

②	2月2日	各チーム代表者会議開催～簡単な規約が作られた。年会費は¥10,000
	3月23日	開幕～岐阜市島西球場。14チームが参加。
	6月29日	各チーム代表者会議開催～各務原市ちとせ、25名集まる。
	11月16日	最終戦～笠原町。今期、113試合を戦った。親善試合・12試合。
	11月30日	納会～スーパーレ昭和。表彰式。次年度連盟の規約案協議。忘年会。 ネンリンピックのあり方がでたらめである、抗議をしてほしいと要望。

H16

③	1月20日	執行部会～白鳥町で開催。新年度の方針及び新年総会の段取り。
	2月8日	新年総会～味のちとせ。渡辺議長、瀬木書記を選出。かなり多くの発言あり、紛糾する。
	3月27日	開幕～島西球場。15チーム参加。
	7月31日	臨時役員会～可児市かまどや本店。司会者～野入、議長～渡辺、書記～瀬木。 緊急課題は岐南シニアの不正選手起用と暴言問題。意見が多く出て充実会議となる。
	11月23日	最終戦～多治見青少年グラウンド。県下15会場で、122試合を戦う。
	12月3日	納会～高山・宝生閣。14チーム、38名参加。年末助け合い募金¥38,000。岐阜新聞へ

H17

④	2月13日	新年総会～スーパーレ昭和。 浦理事長が退任して武藤氏が就任する。進行は犬山の遠藤、議長は横山。書記は瀬木。
	3月27日	開幕～
	7月2日	臨時総会～各務原文化会館。2F 第一会議室。進行～野中、議長～横山、書記～瀬木。 今期前半戦の結果報告、後半戦の予定。ネンリンピック予選の問題が噴出する。
	11月23日	最終戦～16チーム、135試合を戦った。
	12月11日	納会～下呂市・小川屋。冒頭、高山シニアの伝谷監督(68)が12月3日に急逝、黙祷する。 渡辺副会長が県協会がらみの発言をされて協議したが意味不明で協議にならず閉会する。

H18

⑤	2月19日	新年総会～スーパーレ昭和。司会～曾我(富)、議長～曾我(良)、書記～瀬木。 役員改選で、事務局を県内4ブロック持ち回り制が提案されたが、検討課題となる。 今年度参加チームは14チームとする。岐阜クラブ、ラインシニア、多治見シニアは除外。
	3月21日	開幕。開会式で今年の役員が発表された。野中理事長、武藤事務局長、瀬木副事務等々。
	8月8日	理事会～美濃市・河鹿荘。里見会長、体調不良で高橋副が代理する。 県協会との対立がクローズアップ。岐阜ゴールド、岐阜ファイターズ参入問題で議論。
	11月23日	最終戦～各務原青少年グラウンド。今年は天候不順で例年の2/3(164試合)となった。
	12月3日	納会～白川町・飛水館。懇親会は劇団「扇」の歌と芝居で盛り上がる。年間総合成績で3位の 順番に疑問との指摘が出る。

H19

⑥	2月11日	新年総会～岐阜市・スーパーレ昭和。総ての運営に対して批判が出る。
	8月8日	理事会開催～美濃市河鹿荘。始めて全チームの参加があり、軌道に乗り始めてきた。 前半の試合数が少ない、もっと多くするようにと要望が出る。 現在の規約は曖昧であるのでその確立を求める意見が出て、再編を約す。 会議終了間際に水難事故で、騒動になる。
	11月24日	最終戦～岐阜市諏訪山グラウンド。14チームで150試合を戦った。 連盟の活動状況を報告、ネンリンピックの件も含めて。名誉会長を要請する。
	10月20日	藤井参議院議員と会談～藤井事務所。出席者：里見会長、野中理事長、瀬木。
	12月2日	納会～恵那市かんぼの宿。参加者：33名。里見会長病欠の為、高橋副会長が挨拶。 冒頭、試合中に亡くなった、下呂シニアの越選手(67)に全員で黙祷。 シルバー岐阜：ハイシニア全国大会に出場。各務原クラブ：もみじカップで優勝。

H20

⑦

1月11日	執行部役員会～スーパーレ昭和。新年総会の議題等の検討。 出席者：里見会長、野中理事長、百田副会長、高橋専務理事、正村財務長、瀬木。
2月17日	新年総会開催～岐阜市スーパーレ昭和。 藤井孝男参議院議員が出席、当連盟の名誉会長に就任。
3月20日	開幕～雨天の為、近隣公民館で開幕式のみ挙行。 連盟強化本部が設置され、本部長に戸川氏が就任。シニア稲羽連盟を脱退。
11月4日	日置郡上市長と面談～出席者：里見会長、野中理事長、戸川、志津野、瀬木。 長年の懸案である、ネンリンピック県予選のあり方が不明朗だと言う事で、前長寿財団理事長である、日置郡上市長に話を聞いていただいた。長寿財団の亀山理事長に話しておくから訪問するようにと理解を得る。
11月28日	亀山岐阜県長寿財団理事長と面談、和泉常務理事も同席。 出席者：里見会長、野中理事長、百田副会長、正村財務長、高橋専務、志津野、瀬木。 郡上市長から聴いていると言う事で、1時間に渡り詳細を説明すると共に、当連盟の活動も報告する。県協会側の話も聞いてみて、後日返事をするという事で散会。
12月11日	表彰式&納会～サンパーク犬山。

H21

⑧

1月8日	役員会開催～庭園レストラン・ヒーロー、新年度、新年会の検討他。7名出席。 財政がひっ迫、会費値上げが議論される。新しい優勝旗の寄贈を受ける～ハイシニア用。
2月15日	新年総会開催～岐阜市スーパーレ昭和。14チームが参加。 年会費¥20,000→¥25,000の値上げが承認される。
3月20日	開幕～岐阜市島西グラウンド。雨上がりでAM11:00スタートとなる。 今シーズンより、ハイシニアの部が発足する。各務原クラブBが誕生する。
8月1日	理事会開催～関観光ホテル。ハイシニア、古稀の部を強化。ネンリンピックの件、長寿財団と話し合い、他。
10月29日	幹部会議～ちとせ。人事の件を協議するも難航。
11月4日	幹部会議～関観光ホテル。次年度人事について。
11月22日	最終戦～各務原青少年グラウンド、13チームが参加。
12月12日	納会～関観光ホテル。藤井名誉会長、山藤関市議出席。次年度新人事発表、承認。野中体制決まる。

H22

⑨

2月21日	新年総会を関市観光ホテルで開催。14チーム、34名が出席。野中新内閣発足。 相談役：里見要制、会長：野中鉄夫、理事長：百田信高 他、新役員の承認。
3月22日	開幕～島西グラウンド。野中新会長の挨拶で始まる。藤井孝男議員の河合秘書が始球式。 今シーズンより、古稀の部が発足する。
7月5日	里見相談役、急逝、85歳。突然の訃報に驚く。
11月7日	最終戦～各務原青少年グラウンド、11チームが参加。
11月15日	役員会開催～各務原ちとせ、12名。勝ち点の内容を検討他。
12月5日	納会、表彰式～羽島・かんぼの宿、34名参加。

H23 連盟創立10周年目を迎える

⑩

2月8日	執行部会～各務原市ちとせ。9名出席。 新年総会の段取り、2チーム増える件、副会長の増員、もみじカップ主催を撤退etc。
2月27日	新年総会を白鳥町・美人の湯で開催する。48名参加。 新たに2チーム（ハイシニア稲羽、ソルジャー岐阜）の参入が承認される。 勝ち点の算出方法変更が承認される～参加率重視等を加味したモノに。
3月27日	開幕～島西グラウンド。3/11東日本大震災の犠牲者に黙祷。 各チームからの義援金¥155,550を岐阜新聞社に届ける。
6月5日	連盟旗が完成し、白鳥でのリーグ戦時にお披露目。
9月4日	理事会開催。場所は郡上市高鷲町・牧歌の里。 連盟創立10年で連盟旗を製作、更に記念品を作る事が了承された。
11月20日	最終戦～島西グラウンド。15チームが参加。
12月18日	納会、表彰式～恵那市・かんぼの宿。

H24

⑪

1月26日	執行部会～各務原市ちとせ。出席者：野中、高橋（昌）、片桐、島崎、百田、高橋（亮）、志津野、牛丸、羽賀、正村、瀬木、牛丸夫人。今年度の方針を協議する。 10周年の記念タオル決定。各務原フレンズ新加入承認。野中会長はもう一期やる事を表明。
2月8日	牛丸副会長逝去。連盟より香典と生花を贈る。葬儀に瀬木副理事長が参列。 新年総会を関市観光ホテルで開催。45名が出席する。

2月26日	新たに各務原フレンズシニア、岐阜ソルジャーの参加が承認される。 23年度会計、事業が報告され承認。24年度事業計画案が出され承認。
3月25日	岐南町グラウンドで開幕式。14チームが参加。各務原フレンドシニア、岐阜ソルジャーが初参戦 下呂シニア、奥美濃シルバーが欠席。
11月4日	最終戦～向山グラウンドに13チームが参戦。
11月26日	役員会開催～ちとせ。出席者：野中、島崎、片桐、羽賀、松田、百田、正村、志津野、唐木、瀬 野中会長、百田理事長、高橋（昌）副会長、高橋（亮）専務理事、辞任表明。 来季は島崎会長、瀬木理事長を予定する。奥美濃シルバースは休部の方向。
12月2日	納会、表彰式～犬山・サンパーク。 役員改選で野中会長、百田理事長、高橋（昌）副会長、高橋（亮）専務理事の辞任を了承。 新役員に島崎会長、瀬木理事長、長縄副会長、鷲見（孝）、唐木両副事務局長を選任、了承され

H25

⑫	1月21日	執行部会～各務原市ちとせ。出席者：島崎、片桐、羽賀、松田、正村、瀬木、唐木、野中、高 橋（昌） 高橋（亮）。新年総会の段取り、今年度役員人選の検討。 長縄氏は脳梗塞で倒れ、新副会長は、尾前、篠田両氏。副事務局長は、唐木、角両氏。
	2月17日	新年総会を関市観光ホテルで開催。15チーム、37名が出席する。島崎執行部スタートする。 奥美濃は登録するが、古希のみに参加する。関シニアは今年一年休部する。 24年度会計、事業が報告され承認。25年度事業計画案が出され承認。
	3月17日	島西グラウンドに14チームが参加。良天に恵まれた開幕戦となる。
	4月27,28日	サクラカップ、当連盟からは高山、岐南、各務原クラブ、白鳥が参加する。
	9月22日	ねんりんピック県予選、各務原クラブ、シルバー岐阜、白鳥シルバー共にベスト4に残る。
	10月19日	もみじカップ、連盟からは、中津川、各務原クラブ、高山、白鳥が出場。二日目は雨で中止。
	11月1日	役員会開催～ちとせ。出席者：島崎、片桐、正村、瀬木、唐木、尾前、篠田。 納会、新年総会の段取り。
	12月1日	納会、表彰式～高山宝生閣。14チーム、35名が参加。 今季は135試合を消化した。来季から秋の試合開始時間を1時間遅らせる。古希の試合を増やす

H26

	1月17日	執行部会～各務原市ちとせ。新年総会の段取り、今年度の方針を検討。
⑬	2月9日	新年総会を関市観光ホテルで開催。13チーム、34名が参加する。 アスカ各務原、シニア各務原が消滅する。関シニアが復活する。 25年度会計、事業が報告され承認。26年度事業計画案が出され承認。
	3月16日	岐阜市・諏訪山グラウンドに12チームが参加。
	4月初旬	正村事務局長に病が発生。岐阜地区は高橋（澄）氏、古希は若井氏が記録を担当する。
	4月26,27日	サクラカップ、当連盟から白鳥シルバーと、シルバー岐阜が3位になる。
	10月16日	役員会開催～ちとせ。出席者：島崎、片桐、正村、瀬木、唐木、篠田、羽賀、栗田、小野木、三 正村事務局長が病の為、続投が困難で後任人事を検討するも、答えが出ず、持ち越す。
	10月18,19日	もみじカップ、各務原クラブが延長で敗れ、おしくも2位。
	10月27日	岐阜新聞事業部長を正村事務局長、高橋（澄）氏と3人で訪問、納会用の賞状を頂いてくる。 高橋スポーツで納会用の商品を決める。
	11月6日	古希リーグを次木で6チームが戦い、これが最終戦となる。
	12月7, 8日	納会、表彰式～下呂市、望川館で開催。39名が参加。義捐金は¥22,500。 規約一部改正、試合終了時間の明確化。年齢制限を翌年4月1日までとする。 審判に質が低下していて、試合をぶち壊す、講習を各チームで行う事。 AEDの導入、試合会場にない所は、その一番近き所を確認しておく事。

H27

	1月20日	岐阜県ソフトボール連盟執行部会。会計監査。ちとせ。
⑭	1月	山田 弘氏（元各務原クラブB監督）ご逝去
	2月15日	岐阜県シニアソフトボール連盟新年総会。全試合日39日、出場すると78試合／チームとなる 試合終了時間を明確化する。15時まで懇親会。
	3月15日	開幕。諏訪山グラウンドに11チームが参加。開会式後、熱戦を展開。
	4月25、26日	さくらカップ
	10月15日	百田信高氏（前理事長・シニア各務原）ご逝去
	10月17、18日	もみじカップ
	11月1日	諏訪山Gで最終戦。8チームが参加。本年度は163試合を行う。
	11月16日	野中鉄夫氏（前会長・岐阜信長クラブ）ご逝去
	12月6、7日	納会。恵那峡グラウンドホテル。35名が出席。3名の個人に黙祷。古稀の試合日を検討。 シニアの部～シルバー岐阜。HSの部～グレバ。古稀の部～古稀稲羽が制した。

H28

	1月19日	岐阜県ソフトボール連盟執行部会。会計監査。ちとせ。新副会長に山田、小野木氏。
--	-------	--

⑮	2月7日	岐阜県シニアソフトボール連盟新年総会。 全試合日39日、出場すると78試合/チームとなる。 勝利投手、長打賞を新設し、表彰する事を正式決定。15時まで懇親会。
	3月13日	開幕戦。諏訪山Gに11チームが参加。開会式、前年度優勝チームが優勝旗を忘れてきた!
	4月18日	高橋昌嘉氏(元副会長・白鳥シルバースターズ)ご逝去。
	4月23, 24日	さくらカップ
	10月15, 16日	もみじカップ
	11月13日	白鳥でシニア最終戦。6チームと淋しかった。今期、全部で151試合の戦いを終えた。
	11月17日	曾我富男氏(元白鳥シルバースターズ監督)ご逝去。
	11月27日	GSSR納会を高山市宝生閣で開催。36名出席。 白鳥はシニア、ハイシニアも制して2冠は一昨年に続き2度目。古稀はエンジェルスが制した。

H29

⑯	1月17日	岐阜県ソフトボール連盟執行部会。会計監査。ちとせ。新副会長に大津氏
	2月5日	新年総会。みの観光ホテル。32名参加。関市シニア、各務原フレンズ退会。 登録チームが11となり、予算が厳しくなることで年会費を¥30,000に値上げされた。 清水事務局長が退任、藤吉副事務局長が新任。新チームの開発等が話し合われた。
	3月12日	開幕戦。諏訪山Gにシニアの部7チームが参加。
	4月22, 23日	さくらカップ
	8月?日	正村 勝氏(前事務局長)ご逝去
	10月12日	古希の部最終戦 白鳥で4チーム参加
	10月21, 22日	もみじカップ 天候不順により試合は中止(2日間共) 懇親会のみ実施
	11月5日	シニアの部最終戦 岐南町民Gで6チーム参加
	11月12日	白鳥で最終戦。ハイシニアの部3チーム参加 今期、全部で139試合の戦いを終えた。 (シニア:79試合、ハイシニア:22試合、古希:38試合)
	11月24日	岐阜県ソフトボール連盟執行部会。各務原ちとせにて12名出席 納会の準備等 羽賀副会長退 個人賞の投手部門の評価方法に討議
	12月3日、4日	GSSR納会を岐阜市 石金で実施 30名参加し表彰式、総会、懇親会の実施 シニア:シルバー岐阜、ハイシニア:グレートベアーズ、古希:エンジェルスが優勝
	12月26日	宮脇 積氏(可児シニア代表)ご逝去

H30

⑰	1月18日	岐阜県ソフトボール連盟執行部会。会計監査。ちとせ。新副会長に国定氏(エンジェルス)
	2月4日	新年総会。みの観光ホテル。27名参加。 稲羽クラブ退会により登録10チームとなる。 経費逼迫によりグラウンド準備料について討議(従来の半額の3,000円/2面に削減決定) 国定氏の副会長、藤吉氏の事務局長を承認
	2月20日	岐阜新聞・岐阜チャン後援依頼申請(瀬木理事長、藤吉事務局長が岐阜新聞表敬訪問)
	3月25日	開幕戦。諏訪山Gにシニアの部8チームが参加。ハイシニア(古希)2チームより代表者が出席 元羽賀副会長に感謝状贈呈
	4月21, 22日	さくらカップ 今年の大会で終わりとの事。(さみしくなります)
	7/15~8/12	猛暑(酷暑?)により、熱中症予防として7日中止 7/15(HS)、7/19(古希)、7/22(シニア)、7/26(古希)、8/2(古希)、8/5(HS)、8/12
	7月27日	西日本豪雨義援金寄付(5,000×10チーム) 藤吉事務局長が岐阜新聞へ持参 西日本豪雨被害者へのお見舞い(10,000) 下呂シニア
	11月4日	今シーズンの最終戦。岐南町民グラウンドでシニアの部が行われる。 途中降雨により3試合目が中止となる
	11月26日	岐阜県ソフトボール連盟秋季執行部会。ちとせ。
	12月2日、3日	GSSR納会を下呂市 望川館で実施 33名参加し表彰式、総会、懇親会の実施 シニア:シルバー岐阜、ハイシニア:グレートベアーズ、古希:岐阜信長クラブが優勝
	12月3日	歳末助け合い募金寄付 納会時の募金をつのり2万8千円集まる 山田副会長、若井監査役、藤吉事務局長が岐阜新聞へ持参

H31

⑱	1月31日	執行部会~各務原市ちとせ。出席者:島崎、瀬木、尾前、国定、唐木、角、清水、若井、藤吉 新年総会の段取り、今年度役員人選の検討。
	2月10日	新年総会。みの観光ホテル。24名参加。 各務原クラブ退会により登録9チームとなる。 新役員副会長:服部氏(岐南)、座馬氏(可児) 監査役:中屋氏(下呂) 審判長:伊藤氏 承認。今年度事業計画の説明&承認(試合日数 シニア、HS:15日 古希:14日)
	2月25日	岐阜新聞社・岐阜放送 後援名義使用申請(瀬木理事長、藤吉事務局長が岐阜新聞表敬訪問)
	3月17日	開幕戦。諏訪山Gにシニアの部6チームが参加。 ハイシニア(古希)2チームより代表者が 途中に小雪が舞い、小雨および風が強いく肌寒い中での試合を実施 各務原クラブ、岐阜エンジェルス(古希の部)を退会。

令和元年

⑮

5月1日	元号が「令和」に代わる。
7/15~8/10	猛暑（酷暑？）対策として休止とする
10月3日	古希戦をKYBスタジアム（人工芝グラウンド）で行う。参加チームが2チームのみの為、親睦試合として実施（可児シニア、岐阜信長クラブ）
10月19~20日	もみじカップ 天候不順により初日（土曜日）は試合中止（白鳥中体育館にて開会式のみ実施） 二日目に当初予定の初日分を実施し親睦をはかる。又、順位は総得失点にて順位付け。 当リーグからは4チームが参加。（白鳥、高山、中津川、信長）
11月3日	シニアリーグの最終戦。3チームが参加し白鳥Gにて実施
11月9日	古希リーグの最終戦。3チームが参加し可児姫治Gにて実施。
11月10日	今シーズンの最終戦。ハイシニアの部を各務原堤外Gで実施。4チームが参加
11月28日	秋季執行部会。各務原 ちとせ。出席者；島崎、瀬木、尾前、国定、服部、座馬、唐木、角、若井、中屋、藤吉の11名役員全員出席。今シーズンの問題点、課題について対策案を討議。
12月8日 ~9日	GSSR納会を恵那市 かんぼの宿 恵那で実施 26名参加し表彰式、総会、懇親会を実施 シニア：郡上白鳥シルバースターズ、ハイシニア：岐阜エンジェルス、古希：岐阜信長クラブが規約変更について、年齢の引き下げ、女性の参加（HS、古希）、および古希戦については、当初3チーム参加予定であった場合で、急遽1チームが棄権した場合でも残りの2チームで公式試合とする。出席者（各チーム代表）の合意に至った。
12月9日	歳末助け合い募金寄付 納会時に募金をつのり2万1千円集まる 若井監査役、藤吉事務局長が岐阜新聞へ持参（12月10日新聞掲載）

令和2年

⑯

1月27日	執行部会～各務原市ちとせ。出席者；島崎、瀬木、尾前、国定、唐木、角、若井、藤吉 新年総会の段取り、今年度役員人選の検討。
2月16日	新年総会。みの観光ホテル。23名参加。 新役員 副会長：藤田氏（エンジェルス）承認（国定副会長退任：個人都合） 今年度事業計画の説明&承認（試合日数 シニア、HS、古希：11試合計画） 年齢の引き下げ（シニア:1才、HS・古希:2才）及び女子選手の参加OK（HS、古希の部）
2月27日	岐阜新聞社・岐阜放送 後援名義使用申請（瀬木理事長、藤吉事務局長が岐阜新聞社表敬訪問）
3月29日	開幕戦中止（天候不順&コロナウイルス感染防止）
4月~5月	コロナウイルス感染防止により中止（シニア：4試合、HS：2試合、古希：4試合）
6月7日	事実上の開幕戦。（HSの部に5チームが参加し諏訪山Gで実施。高山宝生閣HSに2名、郡上白鳥に1名の女性選手が参加）
7/15~8/16	猛暑（酷暑？）対策として休止とする
8月23日	後半戦開始：下呂市 あさぎりスポーツ公園にてシニアの部5チームが参戦。
11月5日	古希リーグの最終戦。4チームが参加し可児姫治Gにて実施。
11月15日	今シーズンの最終戦。シニアの部を岐南町民Gで実施。6チームが参加
12月1日	秋季執行部会。各務原 ちとせ。出席者；島崎、瀬木、尾前、国定、服部、座馬、唐木、角、若井、中屋、藤吉の11名役員全員出席。今シーズンの問題点、課題について対策案を討議。 国定副会長よりエンジェルスからの来シーズンからの退会表明あり。
12月13日 ~14日	GSSR納会を高山市 宝生閣で実施。9チーム26名参加し表彰式、総会、懇親会を実施 シニア：シルバー岐阜、ハイシニア：シルバー岐阜、古希：古希郡上が優勝 今年度よりHSにて女性の参加を認められ、郡上白鳥3名、高山宝生閣7名の参加があり、いずれもレベルの高い選手（男子顔負け）ばかりで、試合に華やかさと全体に活気が溢れる様になった。 規約改正事項：女性選手の参加条件を全クラスに適用拡大について、出席者の合意を得た
12月15日	歳末助け合い募金寄付 納会時に募金をつのり1万6千円集まる 若井監査役、藤吉事務局長が岐阜新聞へ持参（12月16日新聞掲載）

令和3年 連盟創立20周年目を迎える

⑰

1月吉日	新年役員会および新年総会の中止。（コロナ感染防止の第3次規制の発令対応）
3月5日	岐阜新聞社・岐阜放送 後援名義使用申請（藤吉事務局長が岐阜新聞社表敬訪問）
3月28日	開幕戦中止（天候不順により防止）
4月8日	事実上の開幕戦（古希の部を諏訪山Gにて3チーム参加し実施）
6月	コロナウイルス感染防止により中止（シニア：1試合、HS：2試合、古希：1試合）
7/19~8/22	猛暑（酷暑？）対策として休止とする
8月~	古希部の呼称変更（スーパーシニア 略称SS）
8月~	創立20周年記念オリジナルタオル制作・配布
8/25~9/12	コロナ緊急事態宣言により中止（シニア：2試合、HS：2試合、SS：1試合）
9/13~9/30	コロナ緊急事態宣言延長により中止（HS：1試合、SS：2試合）
11月7日	シニアリーグの最終戦。4チームが参加し岐南町民Gにて実施。
11月11日	スーパーシニアリーグの最終戦。3チームが参加し諏訪山Gにて実施。
11月14日	今シーズンの最終戦。ハイシニアの部を諏訪山Gで実施。6チームが参加

12月2日	秋季執行部会。各務原 ちとせ。出席者；島崎、瀬木、尾前、服部、座馬、唐木、若井、中屋、藤吉の9名出席。今シーズンの問題点、課題について対策案を討議。シニアの部表彰対象変更（優勝、準優勝、三位 → 優勝チームのみ）、年齢制限の特例化（下位チームには翌年度の試合について、制限以下の若手選手の出場を可能とする）今季も女性選手の活躍が見られ、HS、SSの長打賞は女性が獲得
12月12日 ～13日	GSSR納会を美濃市 みの観光ホテルで実施。8チーム23名参加し表彰式、納会、懇親会をS：白鳥シルバースターズ、HS：シルバー岐阜、SS：岐阜信長クラブが優勝 コロナ&天候不順等により、計画の約50%の消化であった。 規約改正事項：①シニアの部の表彰対象変更（優勝チームのみ）②特例選手の適用（下位2チームについて、出席者の合意を得た
12月14日	歳末助け合い募金寄付 納会時に募金をつのり2万3千円集まる（本部より1万円出資含） 若井監査役、藤吉事務局長が岐阜新聞へ持参（12月14日新聞掲載）

令和4年

②1

1月吉日	新年役員会および新年総会の中止。（コロナ感染防止の第6次規制発令対応）
3月4日	岐阜新聞社・岐阜放送 後援名義使用申請（藤吉事務局長が岐阜新聞社表敬訪問）
3月27日	開幕戦中止（前日の雨によりグラウンドコンディション不良）。3年連続中止が続く
4月9日	事実上の開幕戦（SSの部を諏訪山Gにて4チーム参加し実施）今年初の夏日となり暑い日であった。
7月	猛暑による熱中症予防として後半予定の2試合を延期する（7/17→9/4、7/24→11/6）
7/31～8/14	猛暑による熱中症予防として休止とする（当初から予定）
9月28日	後半戦開始。HSの部を白鳥Gにて5チーム参加で実施
10月8～9日	もみじカップ 参加チーム10チーム（岐阜3、福井4、愛知1、三重1、石川1） 当リーグからは2チームが参加。（白鳥、信長）白鳥が準優勝、信長ベスト8 コロナ対応により歓迎レセプション（懇親会）は中止
10月23日	ハイシニアの最終試合（11/13、11/20予定の試合が雨天中止となりHS戦の最終試合となる） 5チームが参加し高山市 清見Gにて実施。 延べ6日間、29試合実施。順位：シ岐阜、白鳥、岐南、グレベ、高山、中津川
10月30日	シニアリーグの最終戦。5チームが参加し下呂市あさざりスポーツ公園Gにて実施。 延べ7日間、30試合実施 順位：高山、シ岐、白鳥、中津川、下呂
11月6日	スーパーシニアリーグの最終戦。3チームが参加し高山市清見Gにて実施。 延べ7日間、24試合実施 順位：中津川、高山、可児、白鳥、グレベ 11/13、11/20予定の試合が雨天中止となりリーグ戦の最終試合となる
11月30日	秋季執行部会。各務原 ちとせ。出席者；瀬木、尾前、服部、座馬、角、唐木、若井、中屋、伊藤、藤吉の10名出席。（嶋崎会長は体調不良により欠席） 役員人事及び今シーズンの問題点、課題について対策案を討議。 役員人事：新会長に瀬木理事長を推挙、その他の役員は別途 規約改正案：①年齢制限引き下げ ②試合時間変更 ③試合開始時間変更 ④特例選手条件緩和についての討議。
12月11日 ～12日	GSSR納会を下呂市 望川館で実施。8チーム26名参加し表彰式、納会、懇親会を実施 表彰式 S：高山初制覇、HS：シルバー岐阜V3、SS：中津川シニア初制覇。（今季よりSの部の表彰を優勝チームのみとする。 役員人事：嶋崎会長体調不良により会長職を退任。新会長に瀬木理事長が就任 規約改正案：①年齢制限1歳引き下げ ②試合時間変更（70分に統一） ③試合開始時間変更（開始時間 9時30分） ④特例選手条件緩和（連続出場可、同時出場3名） について、出席者の合意を得た。
12月12日	歳末助け合い募金寄付 納会時に募金をつのり2万1千円集まる 若井副会長、藤吉事務局長が岐阜新聞社へ持参（12月13日新聞掲載）